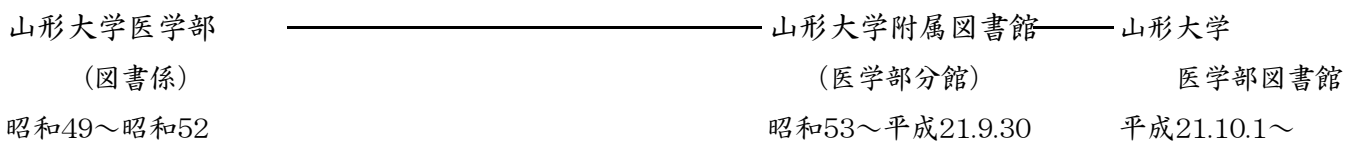
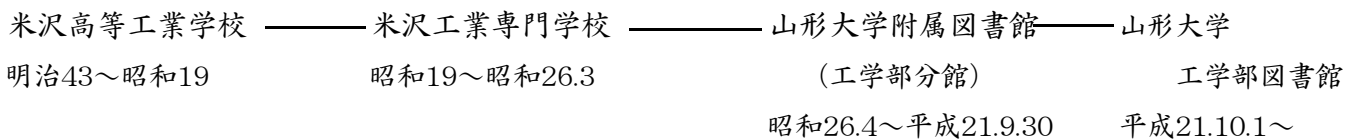
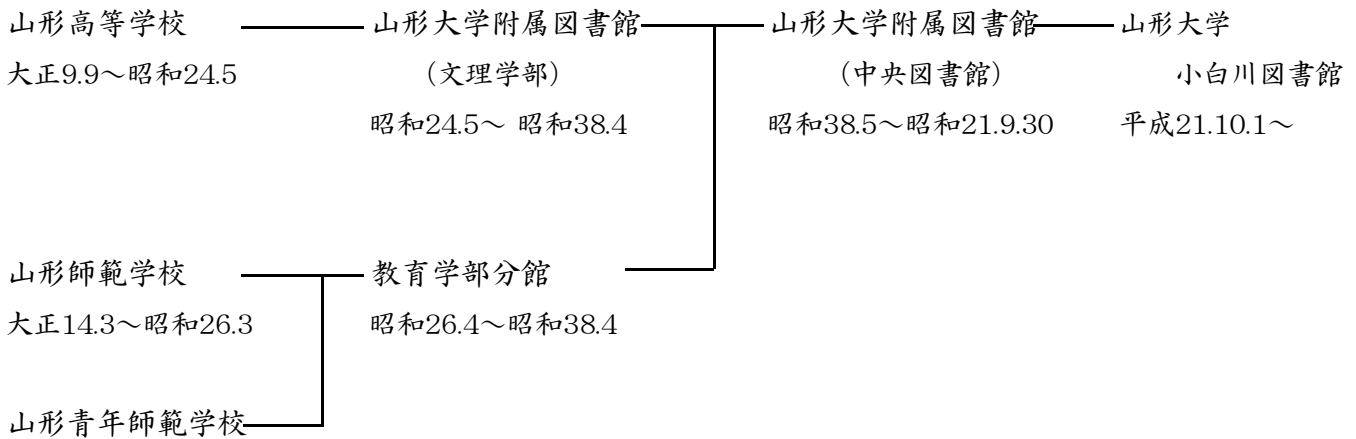


1. 図書館の沿革

昭和24年	5月	山形大学の設置と同時に附属図書館が設置された（旧山形高等学校図書館を中央図書館とし、旧山形師範学校、旧山形青年師範学校の図書館を教育学部分館、旧米沢工業専門学校、旧山形県立農林専門学校の各図書館を、それぞれ工学部分館及び農学部分館として、新機構のもとに発足）
昭和28年	1月	中央図書館新築第一期工事完成。閲覧室、ホール、目録室、事務室等落成
昭和30年	2月	事務機構の改革。従来の庶務、司書の二係から管理、目録、閲覧の三係に改組
昭和33年	1月	中央図書館新築第二期工事完成。学生閲覧室の落成
昭和38年	4月	教育学部の統合移転に伴い、教育学部分館を中央図書館へ統合
昭和39年	4月	工学部分館竣工
昭和40年	3月	新中央図書館を新築し、北書庫部分竣工
昭和46年	2月	中央図書館2, 3階部分を増築（第1回）
昭和53年	4月	医学部分館を設置
昭和54年	2月	中央図書館南書庫、開架閲覧室南側部分を増築（第2回）
平成4年	4月	事務組織を事務長制から事務部長制に変更
平成4年	6月	中条家文書（233通）が重要文化財に指定される
平成5年	2月	図書館協議会に自己評価委員会を設置
平成6年	2月	「山形大学附属図書館自己評価報告書」を発表
平成7年	1月	中央図書館の増改築工事竣工
平成9年	9月	中央図書館にセルフコピー機を設置
平成10年	4月	学外者利用の開始
平成10年	10月	中央図書館に衛星放送受信装置設置（CNNニュース放映開始）（～平成20年度） オープンギャラリー開設
平成11年	2月	人文・社会科学系特別図書選定委員会を設置
平成11年	4月	医学部分館にセルフコピー機を設置
平成12年	1月	工学部分館の増改築工事竣工（第2回）
平成13年	12月	工学部分館にオープンギャラリー開設
平成14年	3月	工学部分館学外者の利用を未成年者に拡大
平成15年	3月	農学部分館増改築竣工
平成15年	3月	「山形大学附属図書館自己点検評価報告書」を刊行
平成15年	11月	「図書館利用サービスアンケート調査」実施
平成16年	4月	附属図書館中期目標・中期計画の開始（～平成21年度）
平成16年	8月	山形大学「1学部・部門1プロジェクト」に「紅花の歴史文化と地域学術資料のデータベース化及び情報発信」プロジェクト（通称「紅花プロジェクト」）を附属博物館と共同で申請、採択（～平成18年3月）
平成17年	10月	和算資料212点の寄贈を受け、「鈴木文庫」として公開
平成18年	7月	事務組織を学術情報部（学術情報ユニット・情報サービスユニット・情報企画ユニット）に改組
平成18年	8月	国立情報学研究所(NII)の次世代学術コンテンツ基盤共同構築(CSI)事業に参加

平成18年 11月	「大学コンソーシアムやまがた」に学術情報部会(～平成21年度)を立ち上げる
平成19年 5月	「文殊菩薩騎獅像」(山形市指定文化財)と古文書約850点を「宝光院文書」として受贈。「文殊菩薩騎獅像」の修復作業を実施
平成19年 9月	「紅花プロジェクト」が東北地区大学図書館協議会学術奨励賞を受賞
平成20年 7月	事務組織の学術情報部を廃止し、企画部図書情報企画ユニット・小白川事務部小白川図書ユニット・各学部事務ユニットに改組
平成21年 10月	附属図書館を廃止し、小白川図書館・医学部図書館・工学部図書館・農学部図書館に改組
平成22年 4月	山形大学基本組織規則に「4館を総称して「附属図書館」と称する」旨規定。山形大学図書館規程を制定 企画部図書情報企画ユニットが廃止され、企画部社会連携・図書・情報ユニットに改組
平成23年 4月	企画部社会連携・図書・情報ユニットが廃止され、渉外部社会連携・図書・情報課に改組
平成24年 4月	渉外部社会連携・図書・情報課が廃止され、渉外部渉外課に改組

2. 組織（蔵書）の変遷



左:昭和28年1月新築の中央図書館



右:昭和33年当時の中央図書館

